

# 視察報告

常任委員会視察

## 建設公安委員会

### ■県内視察 8/31～9/1

- 新潟県スポーツ公園・エアマンスケートパークの活用状況について 他
- 佐渡汽船株式会社・佐渡汽船シャトル、レンタカーの利用状況について 他
- 佐渡地域振興局地域整備部(港湾空港)
  - ・港湾の整備状況、佐渡空港の概要について 他
- トキエア株式会社・トキエアの利用拡大の取組、トキエア機体の視察 他



特別委員会視察

## 防災・脱炭素社会づくり特別委員会

### ■県内視察 9/4～9/5

- 新潟大学 災害・復興科学研究所・本県の地形的特徴と地震被害想定について 他
- (株)INPEX長岡鉱場 越路原プラント・メタネーション実証実験について 他
- ハツ場ダム・ハツ場発電所・ハツ場ダムの概要と水力発電事業について 他



会派視察

## リベラル新潟

### ■県内視察 9/12～9/13

- 新潟県工業技術総合研究所・県内産業と工業技術総合研究所のかかわり 他
- 新潟東部太陽光発電所・全国初の自治体設置事業用メガソーラー設備概要 他
- 新潟工業用水道事務所・新潟臨海工業用水道の概要、笹山浄水場の施設説明 他
- 三面川鮭産漁業協同組合・組合の事業概要、R4年県北水害被害状況説明 他
- 鮭の博物館『イヨボヤ会館』・イヨボヤ会館の概要、村上市と鮭の繋がりについて 他
- 村上市郷土資料館『おしゃぎり会館』・おしゃぎり会館のなりたちと事業概要 他
- むらかみ町屋再生プロジェクト・町屋再生と民間主導のまちづくり 他



小泉勝「県政レポート」は見附市内に新聞折込などでお届けしています。ご近所、お知り合いでご覧になっていない方がおられましたら、お届けいたしますので小泉事務所にお知らせください。

SNSからも随時情報発信中

facebook Instagram 公式HP

小泉勝 公式 LINE @855erggs

友だち登録はこちらのQRコードをスマホのカメラから読み込むだけ!

### 新潟県議会インターネット中継

一般質問 ▶

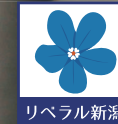
会議録の検索と閲覧 ▶

※録画中継は、その会議の会議録がホームページで公開されるまでの配信です。

小泉勝

KOIZUMI

新潟県政レポート 令和5年10月 Vol.18



〒954-0046 新潟県見附市双葉町2-4  
TEL:0258-62-1265 FAX:0258-62-7078  
Eメール:kongetukoyoi@yahoo.co.jp

## 新潟県議会 令和5年9月定例会が閉会いたしました。

9/26～10/17

物価高騰、エネルギー価格高騰対策や、今夏の高温、干ばつへの対応、化学肥料の輸入原料高騰対策などに要する経費等を盛り込み、107億9082万5千円の増額補正予算を可決しました。

### 新潟県議会 令和5年9月定例会

## 代表質問



〈UX新潟テレビ21 2023年10月16日放送〉

### 質問

【小泉】

### 答弁

【知事】

同性パートナーシップ制度について、新潟県では、「性の多様性等に係る県民意識調査」結果を9月27日に公表した。法律で同性婚は認められなくても、自治体の条例や要綱などを制定することで、当たり前の人権を早急を守るべきであり、県が実施すれば、県全体で理解を進めることにもつながり、市町村が制定せずとも県の制度の傘の中に入れることでそうした新潟県民の人権が守られるが、県の取組の状況と、今後の方向性は？

これまで、性に関する多様性を多くの人が認識し理解を深めるなど、県民の意識醸成に努めてきた。県民の意識調査を実施したが、パートナーシップ制度を導入することについて、7割に近い方が「必要」又は「やや必要」と回答している。今回の調査結果をはじめ、議会での議論、県内外の先事例等を踏まえ、今後の対応について検討していく。



## フォトダイアリー



7/23  
SDGsを学ぶ会 総会・講演会



7/26  
見附まつり清掃奉仕活動



7/30  
2023夏休みわくわく体験塾  
親子めだか探検



8/6  
第74回新潟県消防大会



8/17  
見附市戦没者合同慰霊祭



8/26  
MMマルシェ(めだか釣り)

# 新潟県議会 令和5年9月定例会 代表質問

小泉 勝が、リベラル新潟の代表質問をいたしました。  
合計質問数33問のうち、主な質問答弁を掲載いたします。

## 原発問題について

質問 【小泉】

柏崎刈羽原発再稼働について、県民への信の問い方の方法、時期など、知事は近い人たちに伝え始めると各方面から話が漏れ伝わってきている。今回の取りまとめの公表もそうした動きを踏まえて、定められたゴールに向けたスケジュールの通過点として、タイミングを計ったとも感じることができると真意は？

答弁 【知事】

今年5月、県が検証の総括を行うことを発表した後、担当部局が各検証報告書の内容において重なる部分を整理し、矛盾等がないのか確認する作業を進め、できるだけ早くとりまとめて公表したいと考えていた結果、報告書の公表が今月となったもの。

## 財政問題について

質問 【小泉】

平成17年策定の「新潟県財政運営計画(素案)」には、「決して『財政再建団体』に転落させない財政運営が必要」「県経済を上昇気流にのせ、税源涵養を図る」と示し、「健全化債等の資金手当債や財源対策的基金を最大限活用し県財政を運営」とも記述しているが、『財政再建団体に転落させないためには【借金をして】、【貯金を最大限利用して】財政運営をする』と読める。当時の考え方は正しかったのか、間違っていたのか？

答弁 【知事】

ご指摘のように、県経済の成長を促す施策により税源涵養を図ることのほか、資金手当債や財源対策的基金を最大限活用し財政運営に取り組むこと等を想定していた。平成29年2月改訂の財政運営計画までは高い経済成長率を前提に収支を見込んでいたが、こうした考え方は、当時の判断としては理解できるものの、実際の経済成長率は、当時の推計と比べると低くなっており、結果としてこのような見通しは適切ではなかったと考えている。

## トキエアについて

質問 【小泉】

就航が始まらない限りは収入がなく、職員への報酬は毎月発生しており、かつ、航空機のリース料も中断なく支払いが必要で、遅れば遅れるほど支出だけがかさんでいく。県も一度融資を実行しているため引くに引けない状況だが、追い銭、追加融資は絶対に避けなければならない。就航延期がトキエアの経営にどのように影響していると捉えているか？

答弁 【知事】

就航に必要な人員や航空機等を確保し、給与費やリース料等の事業費支出が生じている一方で、旅客収入が得られていない状況が続いていることは、今後の資金計画にも影響を及ぼすものと考えられる。トキエアでは、就航延期をはじめ一定のリスクが発生した場合においても、安定的な経営が図られるよう、資本金の増資や金融機関からの資金調達を進めていると伺っている。

## 教育問題について

質問 【小泉】

教員の働き方改革は、何十年も成果を上げられないまま無策を続けてきた。教員の働き方改革を着実に進めるためには、現場をよく知るものの参加が必要であり、まずは実践的な研究者、現場を知る教師、教育行政を担当する職員、保護者等が参加し、実態に即して、報告されている労働時間を鵜呑みにせず、学校の教育力を維持または向上させながら教師の働き方を改善する方法を模索すべきと考えるが所見を伺う。

答弁 【教育長】

現場の声を聞くことが重要と考えており、毎年、教員との意見交換会を実施し、多忙化解消の取組に現場の声が反映されるよう努めてきた。本年8月下旬に取りまとめられた、中教審の緊急提言において、教員を取り巻く環境の改善には、教育に関わる全ての者の総力を結集して取り組む必要があるとされていることを踏まえ、意見交換会の参加者の在り方等について、今後検討していく。

## 県政の諸課題について

質問 【小泉】

放課後等デイサービスは、事業所の数が増えてきているが、地域によってサービスの偏在がある。事業所ごとに特色のある活動が行われる一方マッチングが難しく、結果的に希望する事業所を利用できない方がいる。放課後等デイサービスは民間事業所に頼っているため、そこには福祉と言えども市場原理が働き、採算の取りにくい部門、手間のかかる部門は切られ、結局一番支援を必要としている人たちに支援が届かなくなっている。そうした人たちを行政としてしっかりと支えるか、民間に頼むのならその財政的支援が必要だと考える。まずは、支援を必要としている方に対して、住み慣れた地で必要な支援が確実に届くよう、民間事業者の取組に任せるだけではなく、地域におけるサービス基盤の確保に積極的に関わると考えるが所見を伺う。

答弁 【知事】

ご指摘の通り、支援を必要とする方々に十分にサービスを提供できていないという声も聞いており、今後もさらに個々のニーズに応じたきめ細やかなサービスを提供する体制が、各地域で整備されていくことが必要。第7期障害福祉計画の策定に向けた市町村との意見交換や、障害福祉に関する幅広い関係者ととも今後のより良いサービス提供に向けて県自立支援協議会における議論を進めるなど、地域のニーズを適切に把握し、各地でサービス基盤が確保されるよう、積極的に関わっていききたい。

質問 【小泉】

フードバンクの現場からは、シングルマザーだけでなく、生活困窮者の多いことが気になると聞く。コロナ禍よりも、むしろ生活状況が厳しくなったと訴えるひとり親家庭等生活困窮世帯は多く、行政や社協などからの支援依頼や相談が増えているがすべて無償での対応。県もフードバンクに対する設備補助事業を実施しているが、同じ内容の支援事業の繰り返しではなく、事業内容の再考の必要がある。民間の善意に頼る運営には限界があり、市町村と県が連携して財政支援の在り方を検討するなど、自治体がしっかりと支える段階となっていると感じるが所見を伺う。

答弁 【知事】

フードバンクは、運営体制強化の途上にあることや、法人格を有しない任意団体が大半であることから、財政基盤が不十分との声を聞いている。今後も、フードバンクが有するボランティア活動としての自主性を尊重しつつ、連携を密にし、食のセーフティネットの観点から支援していく。

## フォトダイアリー



9/9  
見附西中学校体育祭



9/16  
新潟県立月ヶ岡特別支援学校  
見附分校 開校記念式典



9/23  
移住者等とのBBQ  
(mitsuke joint主催)



9/24  
見附市国際交流協会  
映画上映会



10/1  
日本酒の日  
全国一斉 日本酒で乾杯!



10/9  
今町商店街まちあるきマルシェ